

グローバルベースの最適生産の追求

生産・流通における自動化ニーズの高まりを受け、マテリアルハンドリングシステムの需要は世界規模で増大しています。これを受け当社グループは、中期経営計画「Value Innovation 2020」（2017年4月～2021年3月）において、「グローバル展開に応じた生産拠点の新設・増強」を施策に掲げています。ここでは、2018年から現在にかけて新設・拡充した6つの工場と、改修を進めている工場をご紹介します。

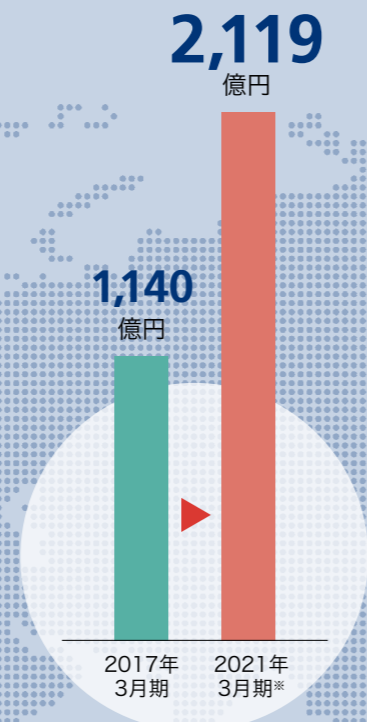


インド



Vega Conveyors and Automation Private Limited

2019年4月、コンベヤシステムの設計、製造、工事などを手掛ける当社がグループ入り。生産・流通分野における物流の自動化ニーズが高まっているインドで生産体制を構築していきます。



※2019年5月に公表した中期経営計画の経営目標修正後の数値。2020年5月時点の売上高予想値とは異なります。

アジア・オセアニア
売上高



タイ



Daifuku (Thailand) Ltd.

東南アジアにおける旺盛な自動化ニーズに応えるため、2019年12月、ピントン工場に新棟を建設。自動車生産ライン向けシステムおよび一般製造業・流通業向けシステムの現地生産を強化します。



韓国



Daifuku Korea Co., Ltd.

2018年10月、南洞工場(仁川市)の加工エリアを従来の1.5倍に拡張。自動車生産ライン向けシステムの製造に加え、一般製造業・流通業向けシステムの生産体制も確立していきます。

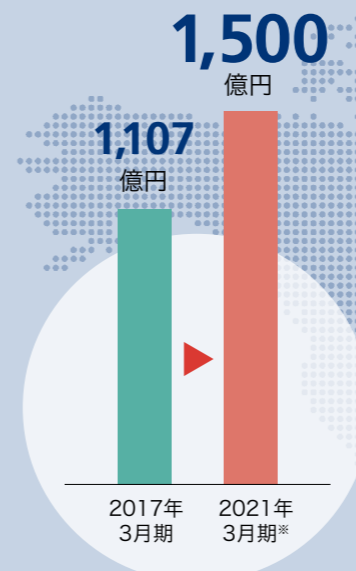


日本



株式会社ダイフク 滋賀事業所

受注量増加で不足していた出荷前製品の保管スペース確保のため、2019年9月、滋賀事業所にN棟(写真手前)を新設。延べ床面積は1万4,700㎡。生産設備の設置も検討しています。



日本
売上高

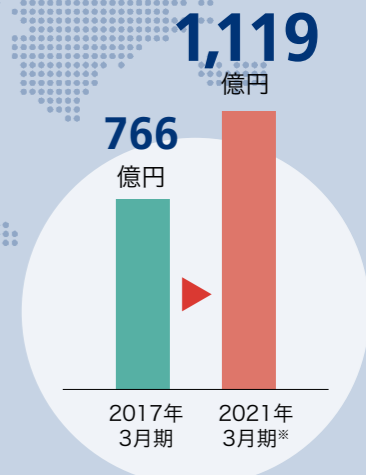


米国



Wynright Corporation

北米における一般製造業・流通業向けシステムの旗艦工場として、2020年1月、インディアナ州に新設。既存の2工場を集約・移転したもので、生産能力を2倍に拡充しました。



北米
売上高



中国



大福(中国)物流設備有限公司

一般製造業・流通業向けシステムの現地生産を強化するため、2019年6月、松江工場(上海市)に新棟を建設。アフターサービスのスキル強化を図るトレーニングセンターも開設しました。



中国



大福(中国)自動化設備有限公司

自動車生産ライン向けシステムの生産能力増強のため、常熟工場(江蘇省)の大規模な改修を進めています。第1期工事が2021年2月、第2期工事が2022年1月に完了予定です。